

ADVERTISEMENT

INTRODUCING
KNF LAB

ADVERTISEMENT

Nature Japan > *Nature* > 今週のハイライト > B型肝炎ウイルス感染に修飾インターフェロン**nature** Japan[Journal Home](#)**今週号**[バックナンバー](#)[Nature 特別翻訳記事](#)[Nature について](#)[研究者の皆様へ](#)[Supplements](#)[Web Focus](#)[日本語版 Focus](#)[The Nature Top Ten](#)[Nature ダイジェスト](#)[Nature Café](#)[全国の取扱い書店](#)**NPG Resources**[ENG Nature Asia-Pacific](#)[ENG NPG Asia Materials](#)[ENG A-IMBN Research](#)**NPG Journals**[Nature](#)[Nature ダイジェスト](#)**専門分野ゲートウェイ***Subject*[Biotechnology](#)[Cancer](#)[Chemistry](#)[Drug discovery](#)[Genetics](#)[Geoscience](#)[Immunology](#)[Materials](#)[Medicine](#)[Methods](#)[Microbiology](#)[Molecular cell biology](#)[Nanotechnology](#)[Neuroscience](#)[Photonics](#)[Physics](#)*Publications*[NCP](#)[アカデミック・ジャーナル](#)*Other*[Nature Precedings](#)**NPG Services**[広告掲載](#)[naturejapanjobs](#)[naturejapanevents](#)[Librarian Gateway](#)[NPG Language Editing](#)[リプリント](#)**Nature 今週のハイライト**

Nature Medicine 5, 5 (May 1999)

Highlights: B型肝炎ウイルス感染に修飾インターフェロン

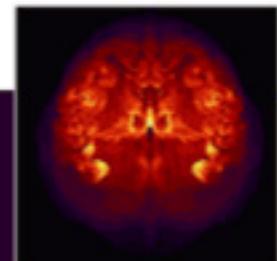
インターフェロン(IFN)はB型肝炎の治療に最も一般的に用いられる抗ウイルス薬である。しかし、残念ながらB型肝炎ウイルス(HBV)の慢性キャリアーの多くがIFNIに反応しない。ハーバード大学・マサチューセッツ総合病院の高橋弘と江藤敏治(現在、宮崎医科大学)は、肝細胞における抗ウイルス効果を高めるため、IFN分子内に2つの異なる受容体結合領域、すなわちこのサイトカインに特異的な受容体(IFN受容体)と肝細胞に豊富で特異的に存在する受容体(シアロ糖タンパク質受容体)にそれぞれ結合する構造単位を有する修飾サイトカイン(シアロインターフェロン)を考案した。その結果、肝細胞におけるIFNの情報伝達が高まり、抗ウイルス効果が増大することが明らかとなった。この方法は、従来の肝非特異的アプローチに代わる効果的な治療手段となる可能性がある。

[SHARE](#)[今週号へ戻る](#)

- ▶ [Natureを購読する](#)
- ▶ [無料サイト登録](#)
- ▶ [Natureについて](#)
- ▶ [サイトライセンス](#)

[Twitterでフォローする](#)

ADVERTISEMENT

**nature**
著者インタビュー
vol.6

「Ia型超新星」は
やはり没個性的!
宇宙の距離を測る
「標準光源」
であり続ける

前田 啓一 氏
東京大学

数物連携宇宙研究機構
特任助教